

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境厚生分科会	会議場所	第3委員会室
		担当職員	池永
日 時	平成27年7月28日(火曜日)	開 議	午後 3 時 5 5 分
		閉 議	午後 4 時 1 4 分
出席委員	明田 馬場 酒井 奥村 富谷 平本 小松		
事務局	鈴木係長、池永		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	議員 - 名

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

< 明田委員長 >

事務事業評価の実施方法などについて、事務局から説明を。

[事務局説明]

< 明田委員長 >

事業の選定については、成果に大きくかかわるので、慎重にお願いする。具体的な事業選定の協議は次回に行いたい。それまでに各自で抽出の検討をお願いする。事務局から何かあるか。

< 事務局 >

次回の日程は、8月18日の全員協議会の後に3分科会共通で行い、同日に月例も行ってはどうかと考えている。市立病院から行政報告もあると聞いている。

< 酒井委員 >

決算と月例について、資料を事前に配付しても良いか。

< 明田委員長 >

酒井委員が皆に配付するということが。

< 酒井委員 >

皆の意見すべてが採用されるわけではないので、自分の思いをアピールしたい。

< 明田委員長 >

希望者は配付したら良い。

< 平本委員 >

委員長に書類の確認だけ取って配付すれば良いのでは。

< 酒井委員 >

当日配付では間に合わないこともある。項目抽出の際、何が問題で提案したのかの理解が伝わらないまま進んでしまうこともある。

< 明田委員長 >

項目を抽出した以上は、それなりの根拠をそれぞれが持つ必要があるということだと考える。

< 酒井委員 >

そうである。資料は分かりやすいものを作りたいと考えている。

< 明田委員長 >

資料については、出せる人は提出を。

3 その他

<馬場副委員長>

予算に対して決算がどうなのかの乖離状態をよく見ていただきたい。当初予算に対して決算額が不執行、もしくは異常に多いなどがポイントとなる。目を光らせておいてほしい。

<明田委員長>

会派の議員などに相談して抽出を。来年度につながる大切なことなので、真剣に取り組んでいただきたい。

散会 ~ 16 : 14